



和泊町立和泊中学校 TEL 0997-92-0030  
 学校だより 3月号 FAX 0997-92-1141  
 令和6年 3月25日 HP 和泊中学校で検索

## ありがとうございました

校長 山端 達雄

# 感謝

12日(火)、第76回卒業式を行いました。当日は穏やかな春の陽気に恵まれ、寄贈いただいたたくさんのお花々に飾られた会場で、厳粛な中にも温かみのある素晴らしい卒業式を挙げていただきました。卒業生代表の喜井悠菜さんの想いのこもった答辞では、在校生をはじめ会場の多くの方が涙する場面が見受けられとても感動的でした。後輩たちに熱い想いと、爽やかな感動を残し本校を旅立った、心優しくエネルギー溢れる55名の卒業生の皆さん。卒業おめでとうございました！そして、ありがとうございました！！

現在、学校では3年生が卒業し、単に人数が少なくなったばかりではない、少し寂しい空気感があります。改めて卒業生の存在の大きさを感じています。しかし、そのような中でも1・2年生は、授業態度や受け答えなどから「これから上級生として頑張っていこう。」という意気込みが伺え頼もしく感じています。4月から上級生としてよいスタートを切り、さらに大きく成長できるような充実した春休みを過ごしてもらいたいと思います。ご家庭でも次の学年でどんなことを目標にするのか、どんなことに頑張りたいかについて話題にしてください。

最後に、私ごとになりますが、3月をもって本校を去ることになりました。3年間、この伝統ある和泊中で校長を務めさせていただいたことは、私にとってとても光栄なことであり、誇りに思っています。これまで、力不足の私を支え、学校経営に深いご理解とご協力くださいました保護者、地域の皆様へ心より感謝申し上げます。また、37年間の教職生活の締めくくりを、優しく素直な素晴らしい和泊の子どもたちに出会い終えられることにも感謝しています。退職いたしますがこれからも、ずっと和泊の子どもたち、和泊中学校を応援してまいります。ありがとうございました。

## お世話になりました ～令和6年度定期人事異動～

鹿児島県教職員定期人事異動の発表があり、本校から5名の職員が転退職することになりました。保護者の皆さま・地域の皆様、大変お世話になりました。

### 高城 夕希歌 (国語)

### 退職

2年間お世話になりました。沖永良部の美しさに触れ、皆さんの温かさに包まれながら過ごした2年間は、教員としての経験から学んだことは、一生の宝物です。新たな道に進む私ですが、この経験を胸に次なる夢に進んでいきます。ありがとうございました。

### 作田 龍聖 (社会) 鹿児島市長立田中学校へ

1年間という短い間でしたが、大変お世話になりました。和泊中学校で過ごし、たくさん思い出を作られたことを幸せに思います。島を離れることは寂しいですが、またいつか皆様にお目にかかる日を楽しみにしています。

1年間ありがとうございました。

### 校長 山端 達雄

### 退職



美しい海、豊かな文化、そして、何より素晴らしい生徒たち、温かい保護者、地域の皆様にお会いし、教員生活のフィナーレを迎えられてとても幸せに感じています。和泊で過ごさせていただいた3年間は私の宝物としていつまでも心に残るものとなりました。ありがとうございました。

### 坪山 史寛 (社会) 岐阜県大垣市立南中学校へ

和泊中学校で過ごした7年間は、本当に楽しい毎日でした。素直で元気な生徒たち、学校教育にたくさん協力してくださる保護者のみなさん、教育に熱い情熱をお持ちの地域の方々のおかげです。感謝しかありません。本当にありがとうございました。

### 神谷 浩子 (英語) 退職

和泊中学校から見える碧い海、生徒たちの素直さと輝く笑顔、保護者の方々の温かい優しさ、忘れられない思い出ばかりです。短い間でしたが大変お世話になりました。

ありがとうございました。

## 55人の巣立ち～第76回卒業式～

3月12日(火)、第76回卒業式を体育館で挙行了しました。保護者、来賓の方々も多数参加していただき、たくさんのお花に囲まれて盛大かつ厳粛な雰囲気の中で実施できました。卒業証書授与では、一人ひとり登壇し、証書を掲げてたくましく成長した姿を見ることができました。卒業生答辞では、喜井悠菜さんが感慨深く3年間を振り返り、その後新生活に向けて力強い決意を述べました。最後は卒業生の合唱で締めくくり、会場が感動する中、55名が和泊中学校を巣立っていきました。



## 農業体験学習

3月5日(火)・6日(水)の2日間、町内の各農園等にご協力していただき、1年生の農業体験学習を行いました。体験を終えた生徒たちは、作業の大変さや収穫の喜び、作物が流通するまでなど多くの学びを得ることができました。各事業所の皆様ありがとうございました。



## 福祉体験学習

3月5日(火)・6日(水)の2日間、2年生は福祉体験学習を行いました。保育園や高齢者福祉施設等で学習させていただきました。生徒たちは、福祉施設で働く人たちの思いや、高齢者の立場に立つて考えることの大切さを感じることができました。ご協力いただいた各事業所の皆様お世話になりました。



## 一致団結 クラスマッチ



3月8日(金)、クラスマッチを行いました。男子はサッカー、女子はドッチボールの競技を生徒会保健部が企画・運営し行いました。真剣勝負の中にも楽しい場面もあり、全校生徒で交流を深めることができました。

### 【結果】

男子(サッカー)	女子(ドッチボール)
優勝 3年1組	優勝 3年2組B
準優勝 3年2組	準優勝 3年1組B
3位 1年1組	3位 3年1組A

## 川添パン・最後のパン給食

半世紀、学校給食のパンを供給して頂いた川添パン屋さんが今年度で終了することとなり、3月19日が最後のパン給食の日でした。生徒会の2人が代表で川添さんへメッセージカードを送りました。おいしいパンをいつもありがとうございました。

## ご寄付をいただきました。

沖永良部ライオンズクラブの皆様から10万円のご寄付をいただきました。いただいたご寄付は「ライオンズクラブ文庫」を設置し本を購入します。ありがとうございました。

## 4月行事と家庭訪問の日程

日曜	主な行事
8月	新任式・始業式・第77回入学式 1年学級PTA(役員決め)
9月	知能検査・NRT・交通安全教室・教科書配布
10月	長浜タイム・NRT・新入生引接・生徒会入会式
11月	身体計測・避難訓練・学級PTA(2・3年)尿検査
12月	第1回PTA理事会
15月	心臓検診(1年)
16月	歯科検診
17月	PTA総会・PTA専門部会
18月	内科検診(~19日)
26月	眼科検診
家庭訪問の日程(4月30日~5月9日)	
30月	家庭訪問(予備日)
1水	家庭訪問(和・和泊北・上手)
2水	家庭訪問(和泊南)
7火	家庭訪問(畦布・伊延・出花・西原)
8水	家庭訪問(喜美留・国頭中・国頭西)
9木	家庭訪問(手々知名・国頭東)



# 卒業式 送辞

日差しの中に春の気配が感じられるようになったよき日に、3年間の中学校生活の最後を迎え、それぞれの新たな道へ旅立たれる先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

入学から3年間、保護者の方や先生方、地域の方々、そして仲間を支えられながら、多くのことを学び、経験されたと思います。今では、その一つ一つが大切な思い出になっているのではないのでしょうか。先輩方と過ごした時間は、僕たちにとっても忘れられない大切な思い出です。

新型コロナウイルスに苦しんだ約3年の日々を経て、今年はようやく全ての行事が例年通り行われました。うれしかったです。体育大会では、3年生全員が一致団結し頑張る姿がとてもまぶしかったです。「ダイナミック琉球」や「エッサッサ」の練習では、先輩方が私たち後輩をリードし、熱心に教えてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

また、合唱発表会では、一人ひとりが気持ちを込めて楽しそうに歌っていて、僕たちは先輩方の歌声に一つのまにか聞き入っていました。先輩方を見て、僕たちもあんなふうに歌ってみたいと思いました。

文化祭では、迫真の演技でオープニングを演出し、また、3年生の楽しい劇に、会場は笑い感動に包まれました。「将来」や「仕事」について深く考えさせられる内容でした。どの行事にも一生懸命に取り組むかっこいい先輩方は、私たちの憧れです。

生徒会活動では、「日本一の学校」を目指して、朝ランの改善や校則の見直しなどに取り組んでくれました。僕も生徒会役員として一緒に頑張ることができてよかったです。いつもサポートしてくださり、本当にありがとうございます。

部活動でも、1、2年生を導いてくださり、ありがとうございました。先輩方が率先して声を出しチームを盛り上げてくださったおかげで、気分が入りました。これからも僕たちは、先輩方と一緒に掲げた目標に向かって頑張ります。卒業していく先輩方の耳に届くような結果を残せるようにベストを尽くします。

いよいよお別れのときがやってきました。これまでの先輩方との思い出を思い返すと、熱いものが込み上げてきます。

先輩方が小さな努力を少しずつ積み重ねて、今の素晴らしい和泊中学校ができました。次は、僕たち1、2年生が3年生に代わって学校を引っ張っていかねばなりません。少し不安な部分もありますが、先輩方が築き上げてきた伝統をしっかり受け継いで、憧れの先輩方を越えられるように頑張りたいと思います。

最後に、感謝の気持ちを込めて僕の好きな言葉を贈ります。

「天才とは努力する凡才のことである。」

これは、アインシュタインの言葉です。いつまでも努力を続ける憧れの先輩でいてください。中学校での学びを誇りに、新しい世界で活躍されることを在校生一同、心から願ひ、送辞といたします。

令和6年3月12日

在校生代表 池野 旭

## 学校評価

3学期学校評価です。ご協力ありがとうございました。1、2学期に比べて家庭学習時間が増え、評価も上がりました。

R5 3学期学校評価（生徒・保護者）

質問	3年級(生徒)				3年級(保護者)			
	1年	2年	3年	平均	1年	2年	3年	平均
Q1 学校は、一人一人を大事にし、敬意を持って教育に取り組んでいると思いますか。	3.5	3.5	3.5	3.5	2.7	3.3	3.5	3.2
Q2 学校は、学習指導に熱心で、分かりやすい授業に努めていると認めますか。	3.5	3.5	3.4	3.5	2.6	3.3	3.3	3.1
Q3 あなたは、自分の役割を自覚して責任をもって取り組む、明るく、楽しく学校生活を満ちていますか。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.1	3.2	3.5	3.3
Q4 あなたは、登壇経験を心がけ、作業に熱心に取り組んでいますか。	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.4	3.7	3.5
Q5 あなたは、授業の「学び合う」時間で自分の意見を述べて友だちの意見を聞いたり、わからないところを先生や友だちに質問したりしますか。	3.4	3.2	3.3	3.3	3.0	3.3	3.4	3.3
Q6 あなたは、「夢」や「希望」をもって生活していますか。	3.3	3.2	3.1	3.2	3.0	3.1	2.9	3.0
Q7 あなたの1学期の家庭学習時間は平均何分ですか。*単位は付かず。	102.6	108.7	109.6	105.9	2.9	2.6	2.9	2.8
Q8 あなたは、花火に対して思いやりと感謝の気持ちを持ち、共に協力して取り組んでいますか。	3.4	3.3	3.4	3.4	2.7	3.2	3.3	3.1
Q9 あなたは、元気な声で進んであいさつをするともにルールを守って生活していますか。	3.4	3.3	3.5	3.4	2.6	2.9	3.2	2.9
Q10 あなたは、「単語・単語・単語・国ごはん」を定例とした正しい生活と心身の健康の維持、体力の向上に努めていますか。	3.2	3.1	3.2	3.2	3.0	3.2	3.2	3.1
Q11 あなたは、家庭では役割を自覚して家事に取り組む、地域の一人として地域活動に参加していますか。	3.2	3.1	3.2	3.2	2.7	3.0	3.0	2.9

夢に向かつて

和泊町立

和泊中学校

前田 悠伍

(第66回鹿兒島県児童生徒作文コンクール地区審査会特選・中央審査会入選)

「三ヶ月は安静にしてください。」  
そう告げられ、頭の中が真っ白になった。  
今年も県中学校総体に向けて予選会に出場していた。走り出してすぐに今まで経験したことのない激痛が走った。最後まで走り切りたかったが無念のリタイア。その瞬間、県大会への道が途絶えた。これまで順調に成績をあげてきただけに、何で今なんだと悔しさがこみ上げた。

「腰椎分離症ですね。成長期のスポーツ等をする中高生に多い怪我ですよ。」

医師から説明を受けている間、あどき無理をしなければ、もっとストレッチをしていけばと後悔の念でいっぱいになった。そして一ヶ月後に控えたサッカー大会への出場ができないうらやま、僕は絶望のどん底に追いやられた。幼い頃から続けてきたサッカーだったが中学校で陸上競技と出会い、駅伝の魅力を知り、高校からは本格的に陸上をやっていたいこうと決めていた。十年余り共にサッカーをやっていた仲間たちとの最後の試合だった。中学三年生の僕にとっては何にも代えがたい時間だった。

身体を動かすことが好きでスポーツは比較的何でもできた僕はサッカーでは主力メンバー。陸上でも成果をあげ、昨年は県下一周駅伝にも出場した。高校受験を控えた今年、何もかもこれからのという時の怪我だった。生まれ初めて味わった挫折。思うように動かせない身体。この先走ることができなくなるのかという不安。思い描いていた未来や夢までもが崩れ去ってしまった。何もかも嫌になり投げ出したくなった。そんな時、母から一冊の本を手渡された。スーパースターの大谷翔平選手の本だった。大谷選手といえばプロ野球史上でも稀な二刀流に挑戦し、投打共に結果を出し誰もが憧れる世界的ヒーローだ。そんな雲の上のような存在に近づけるはずもない。投げやりな気持ちだった僕は母への反発心から本を開いてみた。

高校時代から前人未踏を成し遂げプロ入り後も史上初の連続メジャーリーグで大活躍している大谷選手の原動力、それは目標だった。誰もやったことのないことをやる。世界一のピッチャーと言われたい、世界の歴史に残るような記録を作りたいたいという大きな目標を掲げ、それは無理だということ人々への反骨心を力に変えて自分の限界を突破してきたのだ。そんな大谷選手も幼い頃からずば抜けた成績を残していたわけではない。僕と同じように怪我に苦しむときもあれば、投打どちらか一方しかできない時期もあり苦悩の日々があったことを知った。そのときの辛さや悔しさを乗り越えて弱点を克服するための努力を重ねたことが世界一、史上初といわれる記録へとつながってきたのだ。

今年夢を正夢に変えて、日本はWBCで世界一に輝いた。野球の素晴らしさやスポーツという営みの尊さを教えてくれた侍ジャバンの活躍にこのままではいけないと僕の心はざわついた。

「壮大な夢は正しい努力を続ければいつかは現実になる。才能におぼれない努力の積み重ねが運命の変化をもたらす。不可能を可能にする大谷選手の思考は僕に進むべく光を与えてくれた。」

僕は高校で長距離や駅伝練習を積み、大学に進んでもスピードを磨き続け夢の実現に向けて努力を積み重ねたい。

「箱根駅伝に向かつて。」